

第3回 HIT カーボンニュートラル人材育成協議会会議 会議記録

日 時：令和6年3月14日(木) 14:30～16:40

場 所：八戸工業大学 2号館3階大会議室

出席者：34名（別紙詳細）

次 第：1. 開会

(1) 挨拶

HIT カーボンニュートラル人材育成協議会 会長

八戸工業大学 学長 坂本 禎智

(2) 構成員の追加について

2. 講演

演題「六ヶ所村における脱炭素社会に向けた取り組みについて」

六ヶ所村 政策推進課 課長 吉岡 主悦 氏

3. 議事

(1) カーボンニュートラルを含むエネルギー・放射線等に関する講義・授業の実施について

日本原燃株式会社 技術広報担当 山田 立哉 氏

(2) 八戸市の環境学習会について

八戸市 環境政策課 盛田 芽生 氏

(3) カーボンニュートラル教育に係る本年度の実施報告ならびに来年度の計画と提案

八戸工業大学 工学部工学科 教授 折田 久幸

(4) 質疑応答、意見交換

会議記録

1. 開会

(1) 挨拶 HIT カーボンニュートラル人材育成協議会 会長 八戸工業大学 学長 坂本 禎智

カーボンニュートラルに関する活動について、国内外の現状を知ることが重要である。また、企業・自治体・団体などの動向を共有し合い、それぞれの活動に活かしていただきたい。そのために、今回の会議が有意義な時間となることを願っている。

(2) 構成員の追加について

下北・むつ市企業連携協議会、八戸工業大学第二高等学校が新たに参画することが報告された。

2. 講演

演題「六ヶ所村におけるカーボンニュートラルに関する取り組みについて」

六ヶ所村における取組として、地球温暖化対策実行計画や地域エネルギー会社事業計画について発表があった。また、別項の通り質疑応答および意見交換が行われた。

3. 議事

(1) カーボンニュートラルを含むエネルギー・放射線等に関する講義・授業の実施について

小中高大および一般向けのエネルギー関連の講義・授業の実施について発表があった。

(2) 八戸市の環境学習会について

八戸市環境政策課が取り組んでいる小学生・高校生および一般向けの環境学習会について発表があった。

(3) カーボンニュートラル教育に係る本年度の実施報告ならびに来年度の計画と提案

八戸工業大学におけるカーボンニュートラル教育プログラムについて、今年度の実施報告があった。また、初等中等向け「カーボンニュートラル人材育成プログラム」の活動について提案があった。

(4) 質疑応答、意見交換

(講演「六ヶ所村における脱炭素社会に向けた取り組みについて」に対する質疑応答)

Q バイオマスの活用、水素・風力発電の構想はあるか

A 行政として将来的には検討していきたいが、初期投資などの面からまずは地域エネルギー会社設立に注力する。太陽光発電の FIT 制度とも関連する話である。

Q 地域エネルギー会社事業は六ヶ所村独自で考えた事業か

A 当初は東北経済産業局からの相談であった。しかし内容を精査し、カーボンニュートラル達成に向けて動くことを考えると、地域エネルギー会社の設立は必須であると考えた。課内でディスカッションをし、成功事例などを調査して検討した。

Q フュージョンエネルギーに関する見通しについて

A 世界的に新しい動きが起きており、挑戦的な分野である。日本では政府が昨年4月に、フュージョンエネルギー・イノベーション戦略を決定し、産業化に向けて動いている。フランスでの ITER 建設が遅れており、今後の見直し計画を踏まえて進めるものと思われる。

(議事(1)~(3)、その他に対する意見交換)

金子委員より、HIT カーボンニュートラル人材育成協議会の下部組織として、初等中等向け「カーボンニュートラル人材育成プログラム」を検討するワーキンググループを結成したいとの発言があり、これに関し種々意見交換を行った。今後、産学官連携のもとで立ち上げて中身を検討していくこととした。また、坂本委員長より、子どもたちに身近な存在である小学校などの教員を対象として、環境に関する知識を深める講義を実施することの提案があった。

千田委員より、大学における人材育成プログラムは、カーボンニュートラルという分野の特性上、全学部の学生が広く受講することが望ましいとの発言があった。これを受けて、次年度は学内における講義のPRを早期に行うなど、受講を促進していくこととした。

高橋委員より、現在大学で実施しているエネルギー関連企業による寄付講座について、地元企業に目を向けるきっかけの一つになるとの説明があり、企業側からの要望に応えながら進めたいとの発言があった。

4. 閉会